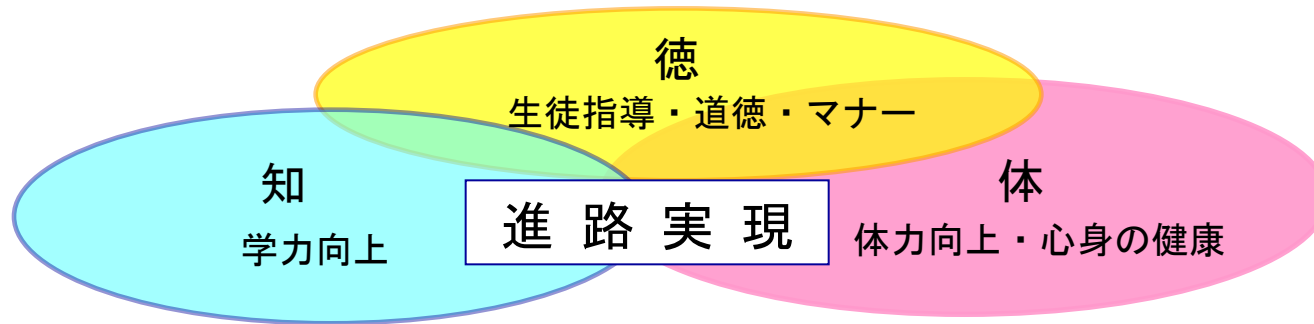


埼玉県立上尾鷹の台高校 中期構想  
第2期鷹の台プラン（平成26年度～平成28年度）  
最終評価 平成29年3月実施

〈基本理念〉 学力を伸ばし、思いやりとすこやかな体を育む



〈研究委嘱〉

- ・未来を拓く学びプロジェクト研究開発校(平成27～31年度)
- ・道徳教育研究推進モデル校(平成26・27年度)
- ・質の高い学校教育の推進に係る調査研究協力校・推進校(平成26・27・28年度)
- ・ボランティアチャレンジプロジェクト推進校
- ・小学生と高校生のスポーツ交流事業推進校
- ・いじめ防止に向けた望ましい人間関係づくり研究推進校
- ・共生社会を支える特別支援教育推進事業
- ・ふれあい体験推進校
- ・次世代型教育モデルに関する調査研究協力校(平成28年度)
- ・県立学校ICT実施校(平成28年度)

# 5つの基本目標と3年後の到達目標等

## 1 基礎・基本を大切にし、自ら学ぶ力の育成

- 授業評価や授業研究を行い、授業のレベルアップを図ります。
- 鷹の台高校「ようよう夢プラン(学力・体力向上計画)」を推進します。

### [3年後の到達目標]

- ・授業に意欲的に取り組んでいる生徒の割合 90%以上
- ・学力の伸長を実感できた生徒の割合 90%以上
- ・埼玉県高校生専門資格等表彰制度による表彰者 20人以上

### 〈主な方策〉

- ・授業評価(授業アンケート)を活用し、PDCAサイクルで授業改善を行う。
- ・校内公開授業や授業に関する研修会を行う。
- ・資格取得試験の合格を目指して取り組む。
- ・「ようよう夢プラン特別講座」を年間5回以上行う。

※PDCAサイクルとは、Plan(計画)、Do(実行、実践)、Check(点検、評価)、Action(改善)の4つの段階を繰り返すことによって、次の計画に生かすことである。

### 【最終評価】

※前回とは25年度に実施した評価の値である

- 授業に意欲的に取り組んでいる……77.7%(前回 73.0%) 生徒自己評価による
- 習熟度別授業・選択授業は学習に役立っている……86.2%(前回 83.5%)生徒自己評価による
- お子様は学習活動に意欲的に取り組んでいる……63.8%(前回 64.1%)保護者評価による
- 本校はお子様の学力を伸ばしている……61.7%(前回 62.3%)保護者評価による
- 埼玉県高校生専門資格等表彰制度による表彰者……9名(前回10名)
- 各教科で授業改善のためのアンケートを実施
- 公開研究授業(年2回)実施
- 職員研修会(11月25日ワールドカフェ方式による意見交換)〈テーマ:生徒の学力を伸ばすために〉

## 2 志を高くもち、自らの生き方を考える力の育成

- 卒業後の進路を見据えた進路指導のさらなる充実を図ります。
- 社会情勢を知り、自らの生き方を考えるキャリア教育(A T Dプロジェクト)を推進します。

### [3年後の到達目標]

- ・進路実現に向けて積極的に取り組んだ生徒の割合 1年70% 2年80% 3年90%
- ・大学等の公募制推薦や一般受験の合格者数の増加 ・就職内定率 100%

### 〈主な方策〉

- ・大学や企業等と連携し、進路ガイダンスや就業体験を計画的に行う。
- ・進路分野別説明会や卒業生による進路講演会など計画的、組織的に進路指導を進める。
- ・生徒が主体的に進路学習に取り組めるキャリア研究ノートを活用する。
- ・生徒が自ら進路研究に取り組めるよう、進路情報を効果的に発信する。

### 【最終評価】

※前回とは25年度に実施した評価の値である

- 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる……61.8%(前回 51.6%) 生徒自己評価による
- お子様は進路目標をもって学校生活を送っている……62.4%(前回 57.2%)保護者評価による
- 実力テスト受験者(1・2・3年)……のべ427名(前回 のべ267名)
- 進路補習の実施……英語・数学・国語(平日7:30~8:20)  
3年次向け講座 夏季休業中に16講座(前回 10講座)  
一般・センター試験対策講座(12月から実施)
- キャリア研究ノート……全年次で活用
- 自分のスケジュール管理を自ら行う力を育成する「手帳」を活用……1・2年次

### 3 礼節を重んじ、他者を尊重する心の育成

- 進路指導と連携した生徒指導を行います。
- 思いやりの心や他者とともに生きる態度を育成します。

[3年後の到達目標]

- ・けじめがあり、充実した高校生活を送っていると思う生徒の割合 90%以上
- ・相手の立場を思いやり、誠実に行動できる生徒の割合 90%以上
- ・皆勤及び無遅刻の生徒の増加

〈主な方策〉

- ・在り方生き方を考えさせ、積極的な生徒指導を継続する。
- ・計画的にマナーアップキャンペーン(あいさつ、身だしなみ、交通安全)を実施する。
- ・人権感覚育成プログラムやいじめ防止のための調査を定期的に行う。
- ・教職員や保護者自らが明るいあいさつを励行し、人権尊重の模範となる。

#### 【最終評価】

※前回とは25年度に実施した評価の値である

- 身だしなみ(服装・頭髪)をきちんとしている……91.6%(前回 77.3%) 生徒自己評価による
- 来校者にきちんとあいさつしている……82.6%(前回 75.2%)生徒自己評価による
- 規則正しい生活習慣が身についている……88.1%(前回 63.2%)生徒自己評価による
- 行事に熱心に取り組んでいる……82.3%(前回 80.1%)生徒自己評価による
- お子様は身だしなみがきちんとしている……91.6%(前回 85.4%)保護者評価による
- お子様はルール・マナー・挨拶が身についている……88.6%(前回 87.5%)保護者評価による
- お子様は規則正しい生活習慣が身についている……54.2%(前回 56.9%)保護者評価による
- お子様は行事に熱心に取り組んでいる……86.3%(前回 87.0%)保護者評価による
- 皆勤及び無遅刻の生徒の数……17名(4期生24名 5期生29名・6期生22名)
- マナーアップキャンペーン(挨拶・更衣・交通安全)実施
- 予防的な生徒指導を目指し、組織的に実施(登下校指導、校内巡回指導)

## 4 心身ともにたくましい人間の育成

- 一人一人の個性を尊重した人間教育を行います。
- よりよい人間関係を形成する力を養うとともに、コミュニケーション能力を育成します。

### [3年後の到達目標]

- ・文化祭、体育祭やロードレース大会などの行事に意欲的に取り組んでいる生徒の割合 85%
- ・部活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合 90%以上
- ・各部活動の目標達成

### 〈主な方策〉

- ・活動の成果を確認する場(練習試合、発表会等)を増やす。
- ・各種講習会(AED、救急法、防火防災など)を実施する。

### 【最終評価】

※前回とは25年度に実施した評価の値である

- 部活動加入率……1年76.8%(前回 78.0%) 2年63.6%(前回 64.6%)
- 部活動に主体的に取り組んでいる……86.8%(前回 79.6%)生徒自己評価による
- 活動実績
  - ・卓球部……全国選抜大会出場
  - ・将棋部……全国大会出場
  - ・女子バスケットボール部……県大会ベスト8
  - ・サッカー部……県大会出場
  - ・ハンドボール部……県大会出場
- 活動の成果発表の場
  - ・文化部展「鷹揚祭」(7つの部が参加)の実施
  - ・小学生との交流……スポーツ交流(野球部、女子バスケットボール部、ハンドボール部)
  - ・どんぐり山ミュージックフェスティバル……吹奏楽部
- スポーツと栄養、生活習慣に関する講習会
  - ・7月7日(講師:大正製薬)、3月23日(講師:国立スポーツ科学センター長)

## 5 地域・社会とともに生きる心の育成

- ボランティア活動に積極的に取り組みます。
- 地域との連携をさらに強固にします。

[3年後の到達目標]

- ・地域との交流に参加する生徒の増加 10%増 ・生徒による美化活動の定着

〈主な方策〉

- ・小・中学校と連携した活動を計画的に行う。
- ・全校生徒が校外での美化活動を行う。
- ・上尾市や自治会と連携し、減災や防災のための体制を整える。

※減災とは、災害による被害をできるだけ小さくする取組のことである。

### 【最終評価】

※前回とは25年度に実施した評価の値である

- グリーンボランティア(国連主催の植樹活動への協力)……82名(前回 51名)
- 校外美化活動……1年(10月)、2年(12月)、3年(7月)
- 地域の小学生との交流
  - ・上尾市内小学校スポーツ大会練習補助(野球部、ハンドボール部)
  - ・夏休み学習ボランティア(21名)・ミニバスケットボール練習補助(女子バスケットボール部)
- どんぐり山(原市の森)ミュージックフェスティバル(6月)……吹奏楽部

### 〈まとめ〉

※[± P(ポイント)]は、25年度に実施した評価と比較したものである。

本校の教育活動に対する学校満足度は、生徒77.8% [+0.9P]、保護者78.5% [-3.2P]である。授業について生徒の自己評価は、意欲的な取組77.7% [+5.5P]、行事への満足度は、生徒82.3% [+2.3P]、保護者86.3% [+4.7P]と高い評価である。進路実現については、生徒自身が積極的に取り組んでいると回答した割合は61.8% [+11.5P]、保護者が子どもは進路目標を持って学校生活を送っていると回答した割合は62.4% [+4.7P]であり、新たなキャリア教育「ATDプロジェクト」による取組が着実に実を結んでいることが分かる。しかし、生徒自身が学力の向上を実感している割合は53.7% [前回調査なし]にとどまった。今後は、第2期鷹の台プランの取組の成果と課題を明確にし、新しい目指す学校像の具現化を図るために、よりよい第3期鷹の台プランを策定することが必要である。